

大仙市立清水小学校 学校報

明るく かしこく たくましく

令和6年度

第17号

2024年9月6日



清水っ子

校訓「強く伸びよ 夢も育てよ 清水っ子」

9月13日は清水小学校開校記念日 創立150周年記念式典



昭和34年の旧木造校舎



現在の校舎



清水小学校は、明治7年(1874年)9月13日、賢木村字大蔵に「大蔵学校」を設立し、沖ノ郷東光院を仮校舎として開校したのが始まりです。校章が完成した当時は、昭和24年、同じ校舎で小中学生が一緒に学習していました。そこで、両校の教員が4つの大部落(賢木、黒鏡、沖ノ郷、野口)の団結心と湧き水、稲作中心の清水村を図案化・検討し、翌年(昭和25年)9月に完成したそうです。また、真ん中の文字が、小学校は「小」中学校は「中」で、図案は同じにして小中一貫教育を目指したそうです。昭和38年に長野中学校と清水中学校が統合しましたので、それまで同じ校舎で小中学生が学んでいたということです。現在、小学校と中学校の義務教育を一貫して行う義務教育学校が県内にも3校(井川・藤里・阿仁)あります。今から60年前まで、清水地区では小中学校が現在の義務教育学校のような形態だったようです。



9月13日の開校記念日は、昨年度から話し合いを進め準備してきた創立150周年記念式典を行います。これまで、地域とともに歩んできた清水小学校の150周年開校記念日を皆でお祝いしたいと思っています。実行委員の皆様、保護者の皆様には、前日から当日と、お手伝いいただくことになり、ありがとうございます。詳細につきましては、本日お子さんが持ち帰った別紙をご覧ください。どうかよろしく願いいたします。尚、学校報15号でお知らせしましたように、9月17日に、記念式典で子どもたちが発表した様子を撮影したビデオ鑑賞会を催します。9時20分から始まりますので式典に参加されない方は、ぜひお越しください。

楽しかったよなかよし給食

給食センター施設の工事のため、夏休み明けから今日まで弁当給食でした。そこで、これを機に、異学年の友達と給食を食べ、親睦を深める「なかよし給食」を実施しました。

子どもたちに、「なかよし給食」の感想を聞いてみると、「初めは何を話そうか悩んだけど、好きなものや、好きなこと、夏休み中のことなど話して、楽しく食べられてよかった」「様々な話をしているうちに、他の学年のことも分かって楽しかった」「話が盛り上がり、美味しく弁当を食べた」「6年生がクイズなどおもしろいことを考えてくれて楽しかった」「みんなで会話しながら食べたら、楽しかったしもっと仲良くなれた」「幸せな気持ちになった」等の声があがりました。大好評の「なかよし給食」でした。



学校菜園の除草に奮闘! クリーンスポーツ委員会



学校農園の野菜は、夏の間、ぐんぐん成長し、たくさん収穫することができました。

9月27日には、サツマイモほりを予定しています。そこで、「クリーンスポーツ委員会」のみなさんが、当日、作業しやすいようにと、下刈りをした雑草を片づけてくれました。全校みんなのための「どんチャレ」、ありがとうございました。9月27日のサツマイモほりが楽しみです。

9月17日から3日間は「なかせんネットチャレンジ」

今年度も中仙地区小中学校において、電子メディアの長時間利用における生活習慣の乱れやネット依存について考え、適切に判断し実践していこうとする意識を高めるため、「なかせんネットチャレンジ」を実施します。今回のチャレンジ内容は、中仙中学校生徒会で話し合っただけで決めた「NSR(Nakasen SNS Rules)」に基づき、小学校と中学校で同一のもの、チャレンジ期間も小学校と中学校で同時期に設定されています。兄弟姉妹のいらっしゃるご家庭は、一緒に取り組んでいただければ幸いです。取組の詳細は、9月9日に配付する「令和6年度なかせんネットチャレンジについてのお願い」にてご確認ください。ご協力をお願いいたします。

<実施のねらい>

- ①余暇における電子メディアとのつきあい方を考え、自分でコントロールできる力を養う
- ②余暇における電子メディアとの接触時間を減らすことで、家族とのふれあい、学習や読書、運動、お手伝い等の時間を増やし、望ましい生活習慣を身に付け、心身ともに健康な生活を送ろうとする意識を高める